



2020年7月20日

各 位

会 社 名 株式会社テラプローブ
 代 表 者 代表執行役社長 横山 毅
 (コード番号：6627 東証マザーズ)
 問合せ先 執行役CFO 地主 尚和
 (TEL 045-476-5711)

2020年12月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月15日に公表いたしました2020年12月期第2四半期(2020年1月1日～2020年6月30日)の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年12月期第2四半期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 四半期純損益	1株当たり 四半期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,000 ～9,200	150 ～350	50 ～230	0 ～170	0.00 ～18.69
今回修正予想 (B)	9,170	320	250	280	30.78
増減額 (B - A)	170 ～△30	170 ～△30	200 ～20	280 ～110	
増減率 (%)	1.9 ～△0.3	113.3 ～△8.6	400.0 ～8.7	— ～64.7	
(参考) 前年実績 (2019年12月期第2四半期)	7,879	△673	△786	△456	△49.75

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症の影響が正確に見通せないことからレンジ形式での開示としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、より精度の高い予想が可能となりましたので、上記のとおり修正いたします。

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの売上高、営業利益につきましては、当初の想定どおり、新型コロナウイルス感染症により車載向けLogic製品の需要がマイナスの影響を受けることなどから、当期第1四半期と比較して減少するものの、その影響は概ね想定範囲に留まり、前回発表予想レンジの上限に近い数値となる見込みです。

経常利益につきましては、為替差益などの営業外収益が発生したことなどから、前回発表予想レンジの上限を若干上回る見込みです。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、売却する設備を当初の想定から追加したこと

より固定資産売却益が増加したことや、台湾子会社において過年度分の未処分利益課税の控除優遇制度の適用に伴い、法人税等を減額したことなどから、前回発表予想レンジの上限を上回る見込みです。

(注) 本資料における上記予想を含む記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。なお、当第2四半期決算短信の開示は、2020年8月14日を予定しております。当期第3四半期においては、更に新型コロナウイルス感染症による影響を受ける可能性があります。それらを織り込んだ業績予想につきましては、決算短信において併せて開示する予定です。

以 上